

## 臨床検査技師の未来を拓くための総合研修構想

◎原 祐樹<sup>1)</sup>日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院<sup>1)</sup>

少子高齢化の加速による人口減少、科学技術の革新的進歩、人工知能の急速な台頭など我々の社会を取り巻く環境は急速に変化しており、今後はさらに大きな変革期を迎えていくと考えられます。そうした大きな変革期に向けて医療の一端を担う臨床検査技師のあり方を考え、継続性のある未来を切り拓いていくための事業を策定する未来構想ワーキンググループ（以下、未来構想WG）が2023年に立ち上がりました。未来構想WGの事業の1つに多様性および継続性ある医療社会にするための総合研修（以下、未来創造研修）があります。この未来創造研修は臨床検査の枠組みに囚われることなく、臨床検査の枠を超えた多種多様なテーマを体系的なプログラムで学ぶことができるものです。

未来創造研修が目指すゴールは大きく2つあります。まずは既存の領域を超えた臨床検査の新たな未来ビジョンを示し、未来を拓くという事業に対してビジョンを共有することです。しかしながら、「未来を拓く」という目標は非常に壮大な目標であり、具体的な取り組みを想像しがたいことも事実です。そこで、まずは具体的なイメージを掴むために近い将来に医療分野に実装されるあるいはすでに実装されつつある先端技術と臨床検査のコラボレーションについて研修で取り上げていくことを考えています。一例としてはテーマを「〇〇×臨床検査」と設定し、近い将来に我々の働き方に関わってくると想定される技術と臨床検査の新たな可能性や未来像について学ぶことを主眼においた研修などが挙げられます。このように新たな分野と臨床検査との関連を知ることで将来に向けた未来ビジョンの端緒を知るきっかけとなることを期待しています。そして、内容を徐々に未来志向に深化させていくことで未来ビジョンのさらなる深掘りに繋げていきたいと考えています。具体的なテーマを切口として徐々に深化、高度化していくプロセスを経ることで会員のみなさんとの未来ビジョンの共有をより一層促進することが出来るのではないかと期待しています。

そして、第二の到達点が臨床検査を基軸としたイノベーションによる新たな価値の創出です。「イノベーション」という言葉は「技術革新」といった文脈で使用され、さまざまな媒体で見聞する機会も多いです。「イノベーション」があらゆる社会課題を解決し、ある日を境にゲームチェンジを起こすかのように語られていることもあります。しかしながら、イノベーションは突如として起こるものではなく、多くの場合は現存技術の改良の延長線上に存在するものであると考えています。さらにイノベーションはあくまで手段であって、イノベーションを通じた新たな価値観の創出こそが本質であると思います。これを私たちの立場に置き換えると、私たち臨床検査技師は臨床検査の専門家として臨床検査を通じて価値を提供してきました。今後は臨床検査に関する専門的知識だけでなく「社会」という広い観点に根差した幅広い見識をもって新たな価値観を創造していくことが未来を切り拓いていくことに繋がっていくと考えます。そして、イノベーションを通じて新たな価値を創出し、「未来」という新たな扉を拓くには、1人でも多くの臨床検査技師のみなさんが現状から一歩を踏み出して新たな時代へとシフトしていくことがとても大切なことだと考えています。未来創造研修では新たな働き方や未来への挑戦心を湧き立てるような多種多様なプログラムを準備することで新たな時代への歩みを踏み出す一助としたいと考えています。

連絡先 052-832-1121(内線 21219)